

## 県内の先生方の実践を紹介します

今年度の M ナビ新聞—情報教育通信—では、学校での 1 人 1 台端末を活用した授業の実践例を紹介していきます(次ページを参照ください)。今回は、昨年度本センターの専門研究「教育の情報化グループ」の一員として、「ICT を活用して『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現を目指す学習活動の推進」をテーマに研究に取り組まれた、小野寺陽先生の実践例です。小野寺先生には、年度はじめの実践例をまとめていただきました。今回ご紹介いただいたのは、先月 4 月に実践したものであり、研究成果物として作成・公開している「With タブレ」を活用しています。「With タブレ」は、児童生徒の主体性に応じた学習方法を示す学習支援ウェブサイトです。本センターのホームページで公開しており、次ページの二次元コードから誰でもアクセスできます。小野寺先生の実践例と併せてご覧ください。

### 家庭への啓発 家庭での ICT 端末の使い方を考えよう

令和5年度がスタートして2か月が経過しようとしています。GIGA スクール3年目を迎え、「1人1台端末が整備された環境での授業」はどうでしょうか。年度はじめの学校行事や授業開き等を通して、端末の活用方法について共通理解をしている学校が多くあります。「ICT 端末は家庭に持ち帰って活用することで時間的・空間的な制約を超えた学びや創造的な学びを広げることができる」(文部科学省「StuDX Style」家庭での ICT 端末の使い方を考えよう)とあり、子どもたちの「学びの場」を制限せずに、連続的な「学びの場」を確保する意味でも、家庭での ICT 活用が重要になっています。一方で、家庭で ICT を使う際には「使う時間や場所などについて児童生徒と一緒に考える場をもってから使い始める必要がある」(同上)とあるように、家庭と連携して ICT 活用に取り組ませることが重要です。学校行事の折に、保護者と一緒に家庭での ICT 活用について考える場を設けたり、お便り等で繰り返し伝えたりなどの家庭への啓発も計画的に行いたいものです。

### 最新情報 文部科学省「端末の利活用状況等の調査結果を踏まえた対応について」

文部科学省では令和5年3月30日に「端末の利活用状況等の調査結果を踏まえた対応について」をホームページにアップし、1人1台端末の整備および利活用等の状況について、整理・公表しました。全国の公立小中学校の校長を対象としたアンケートをもとに、「端末・ソフトウェアの状況」「端末の運用にかかる状況」「端末の持ち帰りに関する状況」「学校における活用状況」「利活用頻度とのクロス集計」に分けて記載されています。「学校における利用状況」からは「全国の小・中学校等の多くの校長が、1人1台端末とクラウドの利活用による個別最適な学びと探究的な学びの一体的な充実、教師の働き方改革や児童生徒の学習意欲等に現時点で積極的な変化を感じており、今後の更なる変化への期待も感じていることが明らかになりました」とあるように、1人1台端末環境の整備が児童生徒の学びにつながっていることがうかがえます。資料として、参考にしてみましょう。



文部科学省ウェブサイト「端末の利活用状況等の調査結果を踏まえた対応について」

編集者から 【次ページに「実践紹介」があります】 今回から、記載内容を変更しました。実践例の紹介等はいかがだったでしょうか。ぜひ、読者の皆様の授業実践の参考にしてください。次号の「実践紹介」もお楽しみに!Mナビ新聞では、皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。(第15号担当 遊佐)



実践紹介  
第1回

「With タブレ」を使った授業実践

東松島市立大曲小学校 小野寺 陽 先生

- ★ Jamboard、Google スライド
- ★ 自ら課題を見いだす
- ★ ウェブサイトで調べる
- ★ まとめ・発表の方法を選択



実施時期	4月	教科、領域	理科(小学校5年)
概要	・主な学習活動 ○Withタブレの活用方法 ★Withタブレを活用した結果 単元:天気の变化(9時間扱い)		
【Point 1】 操作方法は「With タブレ」をみて、個々の児童が習得	【单元を通して】 新年度が始まってすぐということもあり、児童の情報活用能力の把握に努めた。特に情報機器の操作スキルは個人差が大きく、日常的に Google アプリを活用している児童もいれば、初めて扱うという児童もいた。そのため、单元を通してWithタブレの「Google Workspace」のページを見ながら、Jamboard や Google スライドの操作方法を確認し、児童は学習に取り組んだ。 【導入】 ・朝と昼の空の様子 of 資料写真を見比べたり、普段の生活などから考えたりして、天気の変化について調べる課題を見いだす。 ○天気の变化について自分の学習課題を設定するため、「課題の設定」のページの「疑問から考える」「興味・関心から考える」のページなどを参考にした。また、それぞれの課題を学級全体で共有するため、Withタブレの「Google Workspace」の「Jamboard」のページを見ながら、活動に取り組んだ。 ★初めて Google Workspace のアプリを使う児童もいたが、With タブレを参考にしながら、スムーズに学習に取り組むことができた。また、自分の学習課題を設定することに難しさを感じる児童もいたが、友達と意見を共有したことで、それらを参考にしながら課題を設定することができた。		
【Point 2】 児童が「課題の設定」のページを活用して、考えを整理し、友達と共有	【展開・まとめ】 ・天気の変化の仕方を調べるための気象情報の集め方を考え、計画を立てる。 ・記録をまとめ、春の頃の天気の変化について考え、まとめる。 ○自分が設定した課題について、Withタブレの「情報の収集」のページを参考にして調べ、「まとめ・表現」のページを参考にしてまとめた。 ★天気の変化には決まりがあるかについて調べた児童は、気象庁のサイトなどを調べ、タブレットに気象衛星から撮影された雲の動画を保存し、雲はおおよそ西から東へ動いていくことを発表した(写真1)。調べる方法は、インターネットだけでなく、図書室の本や教科書、新聞なども活用し、自分で主体的に学習方法を選択していた(写真2)。まとめの発表方法でも、スライドやドキュメント、画用紙やノートなど、多様であった。		
【Point 3】 児童が「情報の収集」で自分なりのまとめ、表現の方法を探す。	【写真1】 タブレットに保存した動画を使って発表する様子 【写真2】 職員室の新聞から、気象情報を調べる様子		
使用機材	児童の端末は Chromebook		
ソフトウェア	Google ドキュメント、スライド、Jamboard、Classroom		
県内の先生方へ	新年度が始まり、授業でどのように情報端末を子供たちに使わせていくか悩んでいる先生方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私が授業をして感じることは「子供たちは教師の想像を超えて吸収していく」ということです。今回の授業でも、子供たちはどんどん機器の扱いを覚え、機能を使って試行錯誤しながら学習に臨んでいました。「子供たちが学習の中で使う場を準備する」ことが大事なのだと感じました。子供たちと一緒に私たちも学んでいきましょう。		

次回(16号・6月末発行)は、山元町立山下小学校の原健一郎先生の実践事例を紹介します。